

書名	道歌入門 日本人の心の原点			著者名	岡本 彰夫 / 著		
出版社	幻冬舎	ISBN	978-4-344-03277-4	本体価格	¥1,100	発売	2018/4/5
内容	先人たちがのこした道徳的和歌である、「道歌(みちうた)」。人生の岐路に立ったとき、あなたを導く道歌に、日本人の心の原点がある！「道歌」とは？ 歴史上の先人たちが、生きる知恵や心得を和歌の形でのこしたメッセージ。						

書名	『地域人』 第32号			著者名	地域構想研究所 / 編集		
出版社	大正大学出版会	ISBN	978-4-909099-17-4	本体価格	¥1,000	発売	2018/4/10
内容	どこの街にもお城はある、といわれる。城は住む人の誇りであり、今も昔も地域のシンボルであり、訪れる人に街の魅力を伝える。武家屋敷ならぬ役所や企業、商店が集まり、今も「城下町」が広がる。新たな名産品作り、伝統工芸の復活や、天守や御殿の復元…、「お城を核にした地域おこし」が街の個性を生み、活性化をもたらす。老若男女を巻き込んだ「城ブーム」のなか、訪れる人をもてなす工夫満載の、現代の城と城下町の姿を追う。						

書名	神武天皇 vs. 卑弥呼 ヤマト建国を推理する			著者名	関裕二 / 著		
出版社	新潮社	ISBN	978-4-10-610763-4	本体価格	¥720	発売	2018/4/16
内容	考古学の進展は日進月歩。その常識で『日本書紀』を読んでもみると、様々な謎が解けてくる。歴史作家が問う驚きの日本古代史。						

書名	埋葬からみた古墳時代 女性・親族・王権			著者名	清家 章 / 著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05865-0	本体価格	¥1,800	発売	2018/4/18
内容	男女の地位に違いがなかった双系的社会から父系的社会へ移行する中で、古代の女性首長たちは、どのような活躍をしていたのか。関東から九州に至る数多くの古墳群の発掘成果(埋葬施設・副葬品・人骨の性別)から埋葬のルール(埋葬原理)を抽出。古墳時代の親族や首長を問い、王位継承のあり方を分析する。「王朝交替論」についても一石を投じる。						

書名	天河伝説殺人事件			著者名	内田 康夫／著			
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-106803-8	本体価格	¥880	発売	2018/4/25	
内容	国民的名探偵・浅見光彦、シリーズ屈指の人気作が装いも新たに登場！ 能の水上流の舞台上で、宗家の孫である和鷹が道明寺を待っている途中で謎の死を遂げた。妹の秀美は兄の死後、失踪した父を追って吉野・天河神社へと向かうが……。名探偵・浅見光彦が挑む最大級の難事件！							

書名	古代資料を読む 上 律令国家篇			著者名	佐藤信・小口雅史／編			
出版社	同成社	ISBN	978-4-88621-783-7	本体価格	¥3,800	発売	4/上旬	
内容	日本古代史を学ぶ際に必要な代表的史料をとりあげ、その特徴や読み解き方を第一線の研究者が平易に紹介する基礎的理解の為の入門書。							

書名	墓制にみる古代社会の変容			著者名	渡邊 邦雄／著			
出版社	同成社	ISBN	978-4-88621-782-0	本体価格	¥9,000	発売	4/中旬	
内容	律令国家期の墓制の変遷を多角的視座から丹念に追究。墓制が果たした政治的意義を解明し、古代から中世への時代の転換期を規定する。							

書名	旅に出たくなる地図 関西			著者名	帝国書院編集部／著			
出版社	帝国書院	ISBN	978-4-8071-6405-9	本体価格	¥1,500	発売	4/中旬	
内容	旅情あふれる特集を多数掲載。迫力ある鳥瞰図をさらに充実！ 旅の途中で立ち寄りしたい観光スポットをテーマ別に紹介。							